

# 台風24号に備えて

平成30年9月28日

日高農業改良普及センター日高西部支所

10月1日から2日にかけて、台風24号の影響が懸念されます。

台風に対する対策は、作業事故や破損被害を防止するため、十分に余裕を持って対応することが重要です。今後の台風情報に十分注意するとともに、風雨が強くなる前に次の事項を徹底してください。

- ◇ 天気予報等で今後の気象経過を十分確認して下さい！
- ◇ くれぐれも作業の安全性を一番に考えて下さい！
- ◇ 無理をせず、作業事故防止を心がけましょう！

## 1 露地作物、畜産について

### ○水田

- (1) 水田等では用排水路の水の流れを確保する。浸水・冠水の恐れがある水田では排水口の解放や畦畔を切る等の排水対策を行う。
- (2) 刈り取り適期に達した水稻は、倒伏、脱粒の恐れがあるので速やかに刈り取り作業を行う。

### ○畑地

- (1) 低地や排水不良地など大雨により滞水が心配されるほ場では、あらかじめスコップ等で、明渠や排水溝へ排水できるよう溝を掘っておく。

### ○畜産

- (1) 前回の台風、地震で建物が損壊している場合は補修を行い、風雨による被害を未然に防止する。また、風雨が強くなる前に必ず点検を行う。
- (2) 畜舎・サイロ・飼料庫の周囲に不必要な資材・機械を置いている場合は、適切な場所に収納・格納し、周囲を整理する。
- (3) 畜舎・サイロ・飼料庫等に水が入り込むおそれがある場合は、施設の補修のほか、施設周辺に排水溝を掘り、土のうを積むなどの対策を行って施設への浸水を防ぐ。
- (4) 堆肥場や尿溜に入った雨水が流出する恐れがある場合は、土盛りなどを行い河川への流入を防ぐ。
- (5) 草地ほ場に仮置きしているロールバール乾草やラップサイレージは、滞水の恐れのない場所へ移動する。

- (6) 氾濫する恐れのある河川周辺に放牧している牛は、目の届く放牧地や避難施設など、できるだけ安全な所に誘導する。

## 2 ハウス栽培について

- (1) 前回の台風、地震でパイプ、ビニールなどの被害がある場合は補修を行い、風雨による被害を未然に防止する。また、風雨が強くなる前に必ず点検を行う。
- (2) ハウスへの浸水が予想される場合は、ハウス周辺に排水溝を掘り、土のうを積むなどの対策を行い、ハウス内への浸水を未然に防ぐ。
- (3) ハウス周辺の排水溝が浅くなっている場合は、ハウスのすき床面より低く掘り下げなどの排水対策を講じる。また、ボイラーや移動できる機械類は可能な限り高所に移し、浸水を避ける。
- (4) ハウスバンドを点検し緩んでいる場合はきつく締め直す。また、固定するアンカー杭の浮き上がりを点検し修理をする。
- (5) ハウス全体の筋かいが均等に締め付けられるように調節する。
- (6) ハウス中央部に支柱を設置し暴風雨に対するハウス強度を高める。
- (7) ハウスの出入り口、天窓、側窓、換気扇及び側面のフィルム巻上げ部などの開口部が、きちんと締まるかチェックしておく。
- (8) バンドレスの場合は、フィルムを均等に緊張することが難しく強風でフィルムがバタつくともフィルムが破れやすくなる。そのため、妻側端部及び適当な中間部に防風ネットを張りバタつきを防ぐ。
- (9) 既設の防風網は点検整備を十分に行い、突風がおこりやすい場所には応急的に防風網の設置を行う。
- (10) 被覆資材が破れ、風がハウス内に吹き込むとハウス内の圧力が非常に大きくなり、ハウス全体が大被害を受ける。飛来物によるハウスの破損がないように、ハウス周辺の飛散しやすいものを片付けておく。

## 3 その他

地震により地滑りを起こしている斜面や地割れを起こしている土地は、降雨により被害を助長する恐れがあるので、安全を確認してから作業にあたる。

また、水田やハウスの側に崖や斜面がある場合は、風雨が強い間は出来るだけ近づかないよう心がける